

地球温暖化と家庭の省エネ取り組みに関するアンケート調査

1.1. 報告書概要版(調査結果のポイント)

調査実施の概要

- 地球温暖化問題や省エネの取り組みに関する意識調査として、2021年10～11月に実施した。
- 島根県益田市の協力のもと、益田市の住民基本台帳をもとに無作為抽出した1,000件へ調査票を郵送し、437票回収した結果をとりまとめた。

結果の概要

- ① 地球温暖化は深刻だと考える人が94.5%に達する。
- ② 7割以上の方が、地球温暖化を防ぐ取り組みが「暮らしの質」や「地域の豊かさ」の向上につながると考えている。
- ③ 定着している行動は「必要のない照明はこまめに消す」、自宅の省エネ設備・仕組みは「省エネ型エアコン冷蔵庫」や「LED」が多い。
- ④ 8割から9割の人が、次に選ぶときには「省エネ性能を重視」して選びたいと考えている。
- ⑤ 住宅の建て替え時に、断熱を検討している人は約5割、太陽光を検討している人は約3割いる。
- ⑥ 若い世代は水力発電、年代が高いと太陽光発電の設置を求める割合が高い。
- ⑦ 益田市が優先的に対策すべきものは「洪水・土砂災害」とする回答が多い。
- ⑧ 情報源は、テレビは共通で多いが、高齢層は新聞、若年層はインターネットが多く、年代による違いがある。

各項目について

地球温暖化は深刻だと考える人が94.5%に達する

問2「環境問題についてどれだけ深刻だと思いますか」という質問に対し、「深刻である」「やや深刻である」という回答を合計したところ、「地球温暖化とその影響」が94.5%と非常に高い割合だった。(本編3章2節(1))

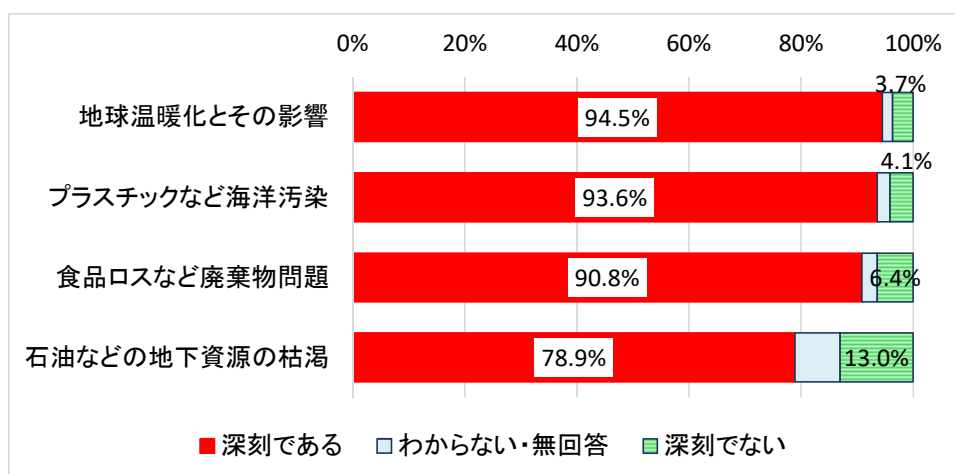


図1 環境問題についてどれだけ深刻だと思いますか

※「深刻である」は「深刻である」「やや深刻である」の合計

※「深刻でない」は「あまり深刻でない」「全く深刻でない」の合計

7割以上の人が、地球温暖化を防ぐ取り組みが「暮らしの質」や「地域の豊かさ」の向上につながると考えている

問5「地球温暖化を防ぐ取り組みは、あなたの暮らしの質の向上につながるといいますか」、「地球温暖化を防ぐ取り組みを進めることは、地域の豊かさの向上につながるといいますか」という質問に対し、それぞれ「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という回答を合計したところ、「暮らしの質の向上」につながるとい回答は71.6%、「地域の豊かさの向上」につながるとい回答は77.8%あった。(本編3章2節(6)および(7))

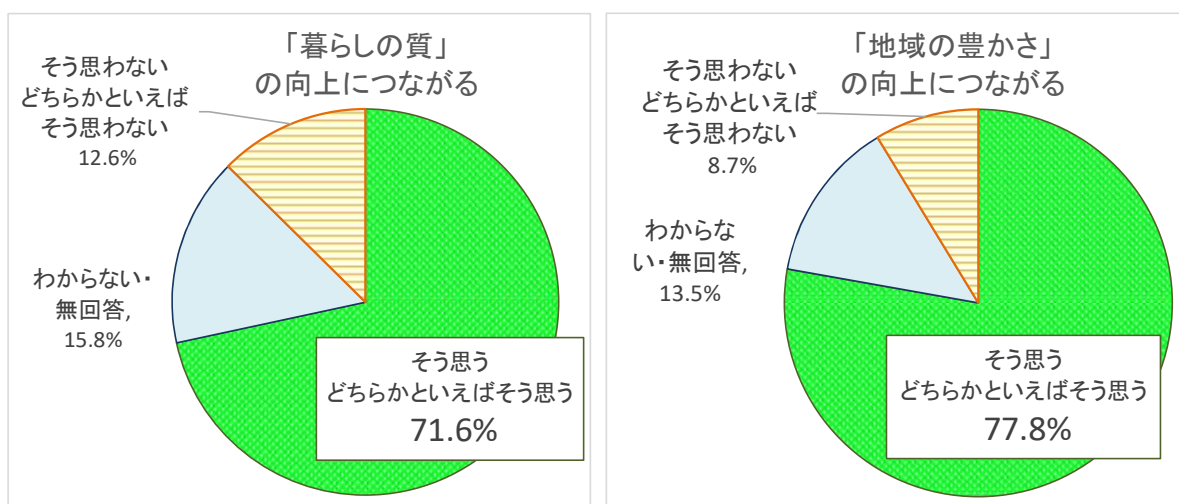


図2 地球温暖化を防ぐ取り組みは、「暮らしの質」「地域の豊かさ」の向上につながるといいますか？

※「そう思う」は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計

※「そう思わない」は、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計

定着している行動は「必要のない照明はこまめに消す」、自宅の省エネ設備・仕組みは「省エネ型エアコン冷蔵庫」や「LED」が多い

問7「あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか」、および問8「あなたのご自宅で、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入していますか」という質問に対し、行動では「必要のない照明をこまめに消している」との回答が最も多く、いつもしている人は60.6%に達した。また導入している設備や仕組みについては、「エアコン・冷蔵庫などは省エネ型」が65.0%、「居間の照明はLED」が64.3%と高かった。(本編3章3節(2)および(3))

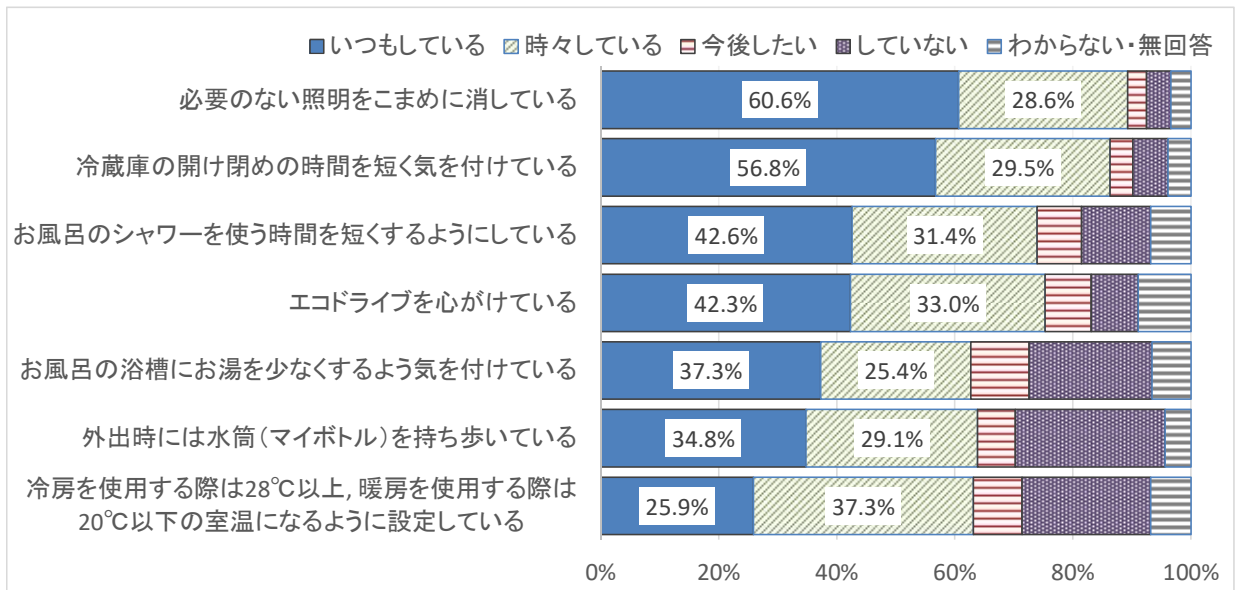


図 3 あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか。

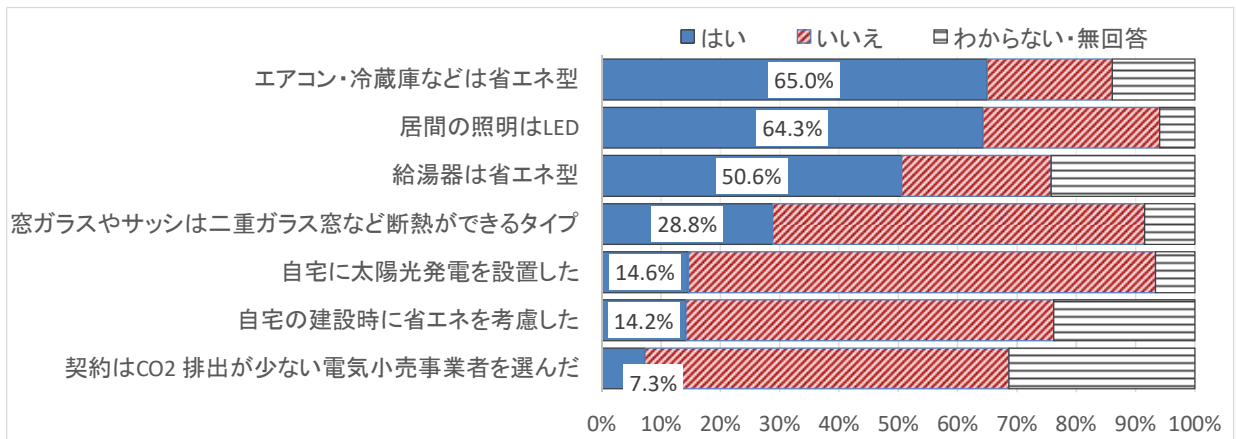


図 4 あなたのご自宅で、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入していますか。

8 割から 9 割の人が、次に選ぶときには「省エネ性能を重視」して選びたいと考えている

問 9「次回買い替えるときには、省エネ性能を重視して選びたいですか」という質問に対し、「重視する」「少し重視する」を合わせると、最も少ない「自家用車」で 80.5%、最も多い「家電製品（エアコン、冷蔵庫など）」では 92.0%に達した。（本編 3 章 4 節 (2)）

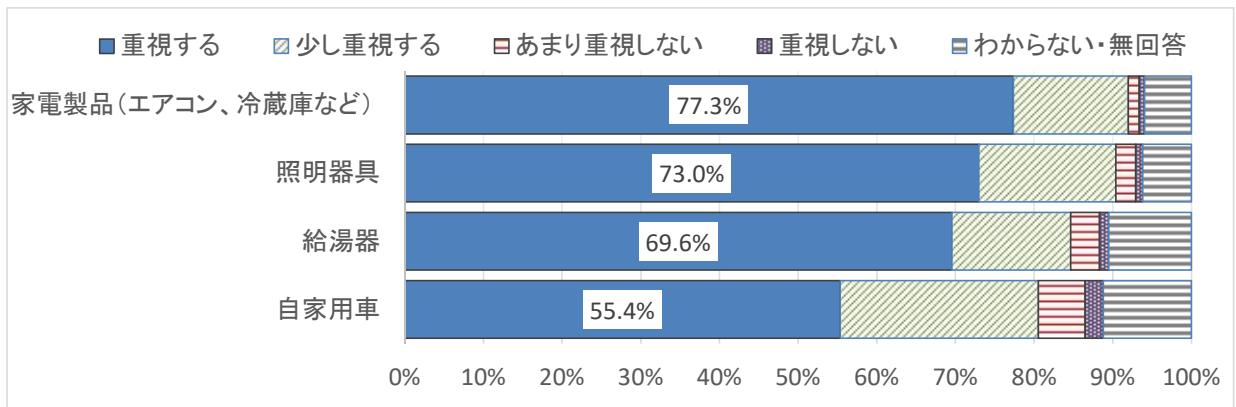


図 5 次回買い替えるときには、省エネ性能を重視して選びたいですか

住宅の建て替え時に、断熱を検討している人は約5割、太陽光を検討している人は約3割

問11「今後、住宅を建て替えするとき、省エネや再生可能エネルギーの導入などを実施したいと思いますか」という質問に対し、「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」を合わせた回答割合は、「窓の断熱」が53.3%、「壁や屋根・床の断熱」が51.9%、「太陽光発電の設置」が31.4%であった。(本編3章4節(4))

また、問12で「壁や窓、屋根など住宅の省エネについて、取り組もうと考える理由は何ですか」と尋ねたところ、上位3つの理由としては、「夏の暑さや冬の寒さを改善したい」「光熱費を下げたい」「健康に過ごしたい」があげられた。(本編3章4節(5))

また、問13で「太陽光発電などの設置について、取り組もうと考える理由は何ですか」と尋ねたところ、上位3つの理由としては「光熱費を安くしたい。電気を売って得をしたい」「災害時にも電源・熱源として利用できる」「これからの時代に必要だから」があげられた。(本編3章4節(6))

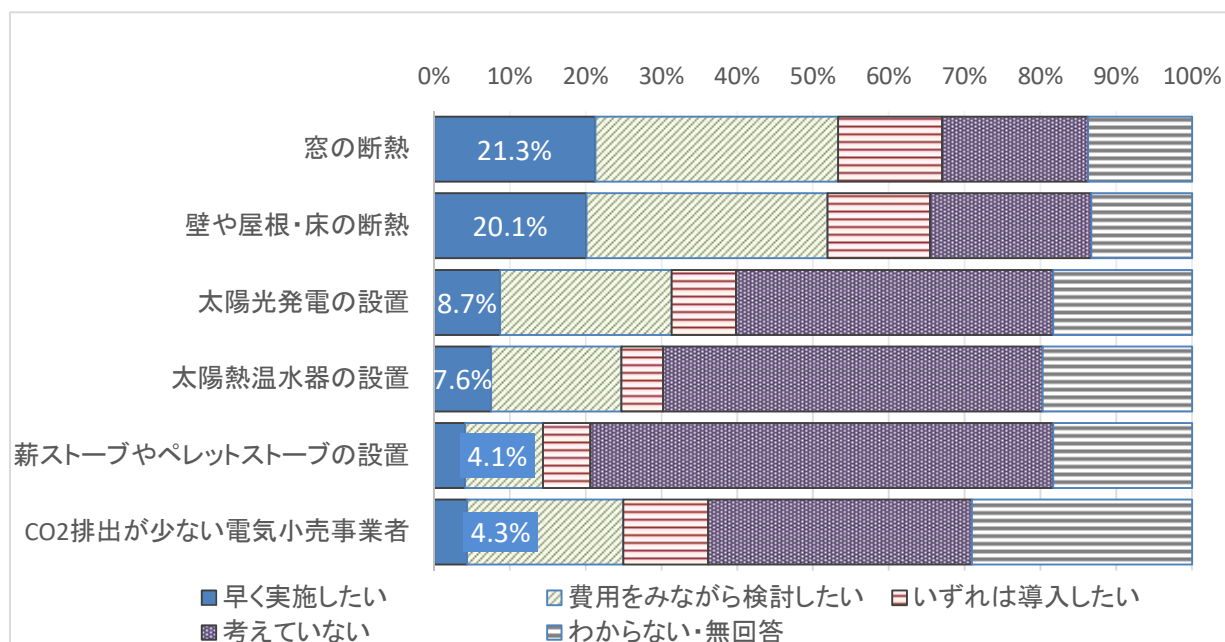


図6 今後、住宅を建て替えするとき、省エネや再生可能エネルギーの導入などを実施したいと思いますか

窓・壁や屋根・床の断熱を実施・検討したいと回答した人の主な理由

1. 夏の暑さや冬の寒さを改善したい 67.8%
2. 光熱費を下げたい 56.3%
3. 健康に過ごしたい 28.6%

太陽光発電を実施・検討したいと回答した人の主な理由

1. 光熱費を安くしたい。電気を売って得をしたい 48.8%
2. 災害時にも電源・熱源として利用できる 40.4%
3. これからの時代に必要だから 34.3%

若い世代は水力発電、年代が高いと太陽光発電の設置を求める割合が高い

問 14「益田市内に作るべきだと思いますか」という質問に対し、年代別に比較を行ったところ、いずれの再生可能エネルギー施設についても、30代以下の若い世代が水力発電、40代以上の世代は太陽光を「導入・拡大すべき」と回答する割合が高い結果となった。(本編4章8節(2))

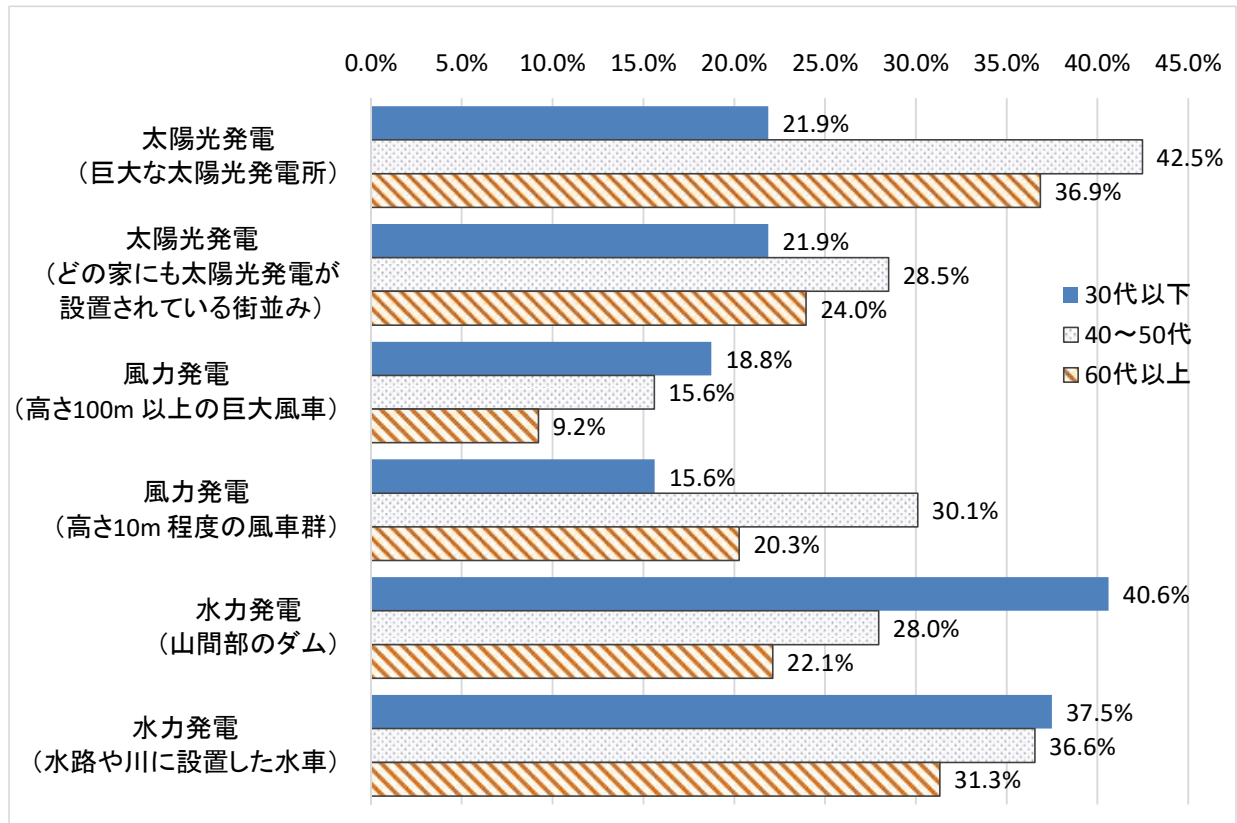


図 7 年代別の今後益田市内に導入・拡大すべき再生可能エネルギー施設

益田市が優先的に対策すべきものは「洪水・土砂災害」の対策

問 16「益田市が優先的に対策すべきもの」の質問に対し、「洪水・土砂災害」の対策を選ぶ人が60.2%と最も多かった。(本編3章5節(3))

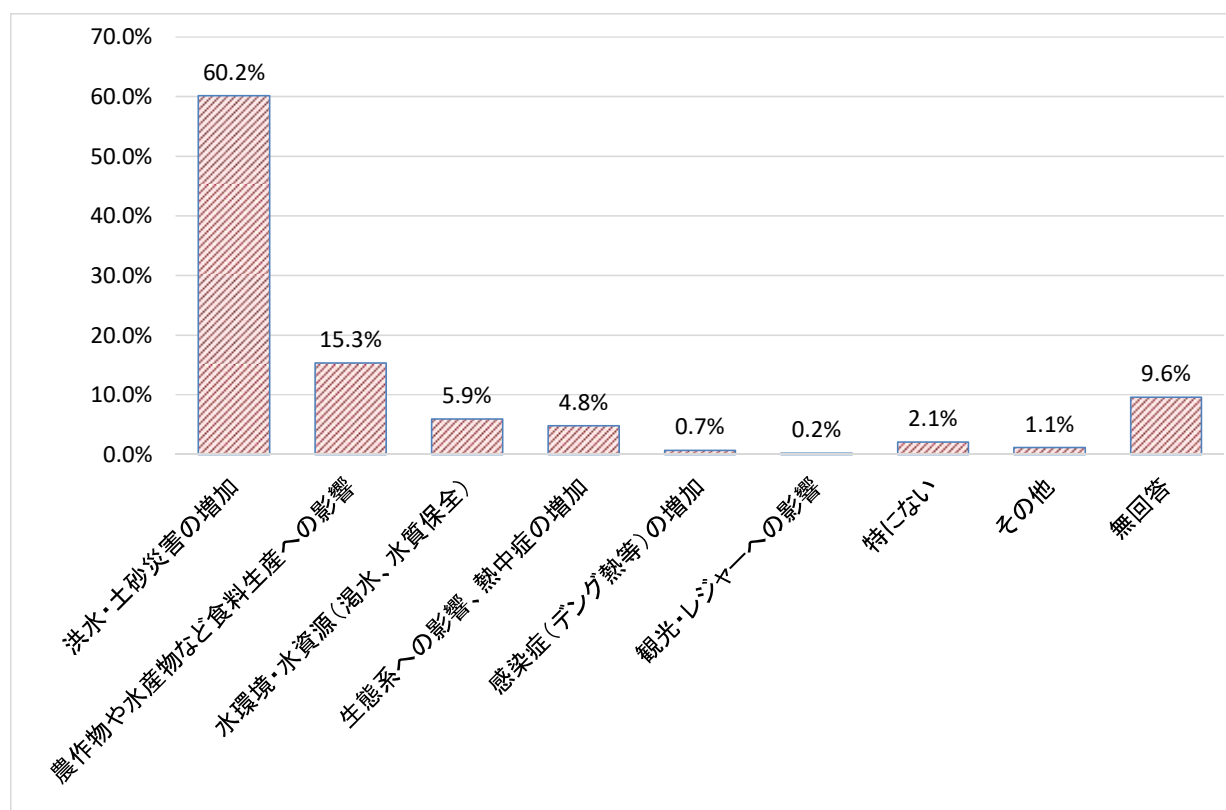


図 8 益田市が優先的に対策すべきもの

情報源は、テレビは共通で多いが、高年齢層は新聞、若年層はインターネットが多く、年代による違いがある

問 18「地球温暖化や省エネの方法に関する情報をどこから得ていますか」という質問に対し、どの年代でも「テレビ」が最も多い83.5%となっているが、2位以下については、高年齢層では「新聞」が多かったのに対し、高年齢層以外では「インターネット」が多い傾向がみられた。(本編4章11節(1))

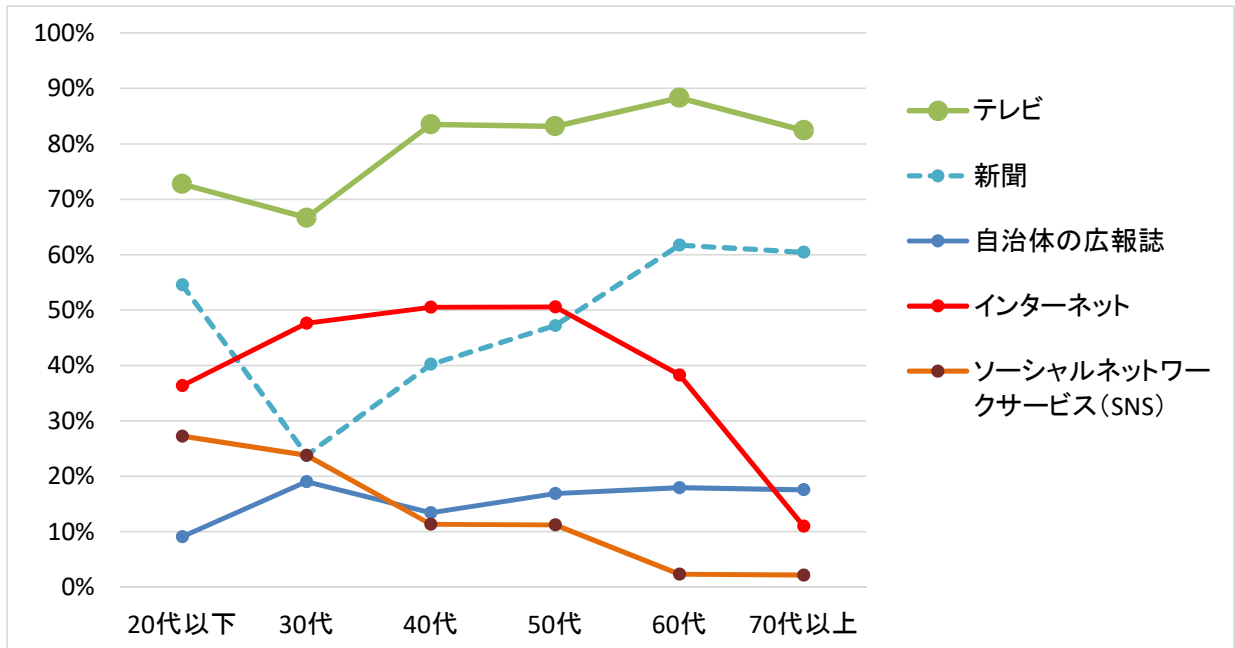


図 9 「年代」と情報源